

## 企業向けワーケーション導入セミナーを開催しました

2023年3月16日、オフィスや自宅とは異なる場所で働きつつ豊かな時間を過ごす新しい働き方「ワーケーション」の推進を目的とする「企業向けワーケーション導入セミナー」を開催。オンラインでの配信という形で実施し、61人が視聴しました。

ひょうご仕事と生活センターは、2021年度にワーケーション推進の取組を開始。ホームページにワーケーションのページを設けるとともに、第1回ワーケーションセミナー（基礎編）を開催しました。第2回の今回は、導入編として企業のワーケーション導入を後押しする内容で、講演とパネルディスカッションの2部構成で実施しました。

第1部は、経団連（一般財団法人日本経済団体連合会）の美波朋大氏と岡篤志氏が登壇。「企業向けワーケーション導入ガイド一場所にとらわれない働き方の最大活用一」と題し、講演しました。ワーケーションの効果をはじめ、企業の実施事例、導入へのルール整備などについて解説。「テレワークを導入済みであれば、新たに整備することは多くない。スモールスタートでいいので、ぜひ始めてほしい」と締めくくりました。

第2部のパネルディスカッションは、ワーケーションには絶好の場所の淡路市を会場に実施。大阪湾を望む兵庫県立淡路夢舞台国際会議場にパネリストが集まりました。同会議場に隣接するホテル、グランドニッコー淡路の浅海典夫営業支配人が施設内容やワーケーション特別割引プランを説明した後、ディスカッションに移りました。

テーマは「テレワークを活用した多様で柔軟な働き方を目指して」。長年、数々の企業のテレワーク推進に携わってきた社会保険労務士の武田かおり氏を進行役に、パネリストである県内3社の代表が、テレワークやワーケーションに



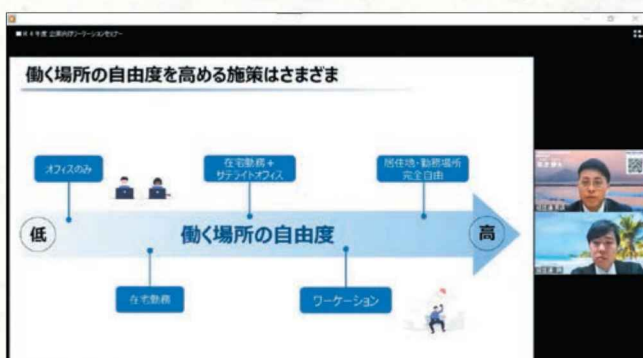
パネリストの皆さん（左から武田氏、後藤氏、歯朶氏、関根氏）

どのように取り組んでいるかを紹介しました。

株式会社阪技代表取締役社長の後藤純次氏は「沖縄のサテライトオフィスでの現地企業との交流が新たなアイデアを生んでいる。人との交流が学びにつながっている」とワーケーションの効果について言及しました。株式会社ハヤブサ代表取締役社長の歯朶由美氏は、「業務に最適な環境を社員自身が選択するテレワークシステムにより、自立型人材の育成を行っている」と説明。「仕事とプライベートを分けたい人もいます。まずは仕事の属人化解消とペーパーレス化を進める」と述べました。介護業界においてワーケーションを推進したいとする株式会社SMILE PLACE代表取締役の関根秀行氏は、「宍粟市の体験ツアーに参加したことで休暇型ワーケーションの良さを実感。導入に向け整備を進めたい」と述べ、「初めの一步が大事。トライ＆エラーの精神で取り組んでみては」とメッセージを送りました。

### ●パネリストの紹介

(株) 阪技 (高砂市) 代表取締役社長 後藤純次氏 【2018年度表彰企業】	「企業の成長には人の育成が不可欠で、時には働く環境を変えて社外の人と交流し見聞を広めることが必要」と沖縄にサテライトオフィスを開設し、柔軟な働き方と幅広い活用を検討。
(株) ハヤブサ (三木市) 代表取締役社長 歯朶由美氏 【2022年度表彰企業】	2020年の新社屋整備を機に、フリーアドレス制を導入。近年は人材確保に向け時間と場所を自由に選べる働き方、ABWの推進に注力。
(株) SMILE PLACE (神戸市) 代表取締役 関根秀行氏 【2019年度宣言企業】	2017年に異業種から介護福祉分野に参入。介護福祉業界に新しい風を吹かせたいと、ワーケーション制度の導入も検討。
社会保険労務士法人NSR テレワークスタイル推進室 CWO 武田かおり氏	ひょうご仕事と生活センター外部専門家。2008年から「テレワーク社労士」としてセミナー、講演、テレワーク導入支援・相談に対応。



経団連によるオンライン講演